

平成30年度 第2回坂井市総合教育会議

日時：平成31年2月18日(月)13時30分～

場所：坂井市役所 302会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 協 議

(1) 平成31年度坂井市教育委員会主要事業について

- ①小中学校のICT環境整備について（教育総務課）
- ②新三国学校給食センターについて（学校教育課）
- ③小学校英語教科化に伴う指導体制の強化について（学校教育課）
- ④小中学校・図書館図書購入（増額）対応について
（学校教育課・図書館）

〈意見交換〉

- ⑤福井しあわせ元気国体事業報告（国体推進課）
- ⑥スポーツ振興事業について（生涯学習スポーツ課）
- ⑦ハートピア春江大規模改修について（文化課）
- ⑧坂井市文化財保存活用地域計画の作成について（文化課）
- ⑨丸岡城天守の保存と安全性に向けて（文化課）
- ⑩みくに龍翔館リニューアルについて（文化課・龍翔館）

〈意見交換〉

(2) その他

3. 閉 会

小中学校のICT環境整備について

H31. 2月総合教育会議 教育総務課

○文部科学省の新学習指導要領(平成29年改正)

- ・情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け
- ・「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段」を活用し、適切に活用した学習活動の充実を図る
- ・小学校においてはプログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的に、ICTを活用することが必要

⇒国では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」をとりまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」を策定
2018年～2022年まで 単年度1805億円の地方財政措置を講じることとする

2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で 目標とされる水準(国)

- 学習用コンピュータ 3クラスに1クラス分程度整備
ex. 小中学校に9クラスある場合、3クラス人数分のパソコン整備
- 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師人数分を整備
- 大型提示装置・実物投影機 100%整備(普通教室1台 特別教室6台)
(実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
- 超高速インターネット及び無線LAN 100%整備
- 統合型校務支援システム 100%整備

市小中学校のICT現状及び当面の目標

現状 ⇒ 目標	現状⇒目標
① 学習用コンピュータ デスクトップ1クラス人数分+タブレット数台⇒デスクトップ1クラス人数分+各学校クラス数	200⇒300 台
② 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師人数分を整備 各学校3台以上 ⇒ 2クラスに1台以上(各学校4台～13台程度)	100⇒150 台
③ 大型提示装置・実物投影機 100%整備 各学校1台以上 ⇒ 各学校フロア1台以上	30⇒70 台
④ 超高速インターネット及び無線LAN 100%整備	整備済
⑤ 統合型校務支援システム 100%整備	必要性検討

2019年度以降の対策

ICT機器の整備について、タブレットの増、普通教室での授業で使用する指導者用パソコン増を目標とするが、2019年度については、特に大型提示装置及び実物投影機の導入を計画



小中学校各1校ずつモデル校を選定し、導入要望のあった大型提示装置等の導入を計画
毎年実施している学校指導主事訪問の授業で、導入されたICT機器の利用状況を実証

ワールドマスターズゲームズ2021関西の概要について

○主催

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会

○共催

公益財団法人日本スポーツ協会

○後援

スポーツ庁 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

○概要

4年ごとに開催されるワールドマスターズゲームズの第10回大会であり、アジアで初めての開催

○期間

大会期間 2021年5月14日（金）～30日（日）〔関西全域〕
開会式 2021年5月14日（金）〔京都市〕
閉会式 2021年5月30日（日）〔大阪市〕

○公式競技

全35競技59種目〔2府7県4政令都市〕

○参加対象者

概ね30歳以上の一般アスリートとし、競技ごとに別に定める

○大会参加者目標数

5万人〔国内参加者：3万人、国外参加者：2万人〕

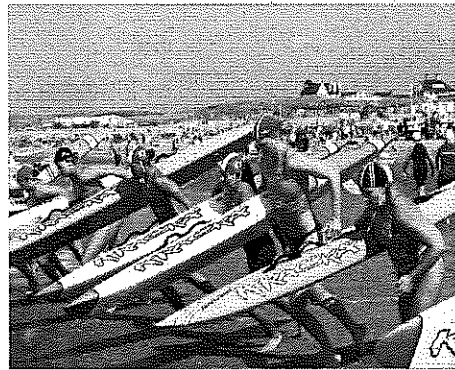
※オープン競技（大会機運の醸成と大会参加機会を増やすことを目的に実施）

16競技（2019年1月現在）

県内実施競技の概要について

1 公式競技

- ・競技名 ライフセービング
- ・主催 ワールドマスターズゲームズ2021関西 福井県実行委員会
- ・会場 若狭和田ビーチ（高浜町和田）
- ・日程 2021年5月22日（土）～23日（日）〔予定〕
- ・参加人数 500人〔想定〕



2 オープン競技

- ・競技名 ディスクゴルフ
- ・主催 坂井市、福井県ディスクゴルフ協会〔予定〕
- ・共催 ワールドマスターズゲームズ2021関西 福井県実行委員会
- ・会場 坂井市海浜自然公園（坂井市三国町安島）他
- ・日程 2021年5月11日（火）～15日（土）〔予定〕
- ・参加人数 200人〔想定〕



⑥ハートピア春江大規模改修について

総合教育会議資料
文化課

(1) 施設の概要

施設の名称	正式名称	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館
	愛称	ハートピア春江
開館年月		平成7年5月
施設規模	敷地面積	73,900㎡
	建築面積	5,635㎡
	延床面積	9,135㎡
構造		鉄筋鉄骨コンクリート 地下1階/地上3階
ホール	ハートピアホール(大ホール)	656人
収容人数	小ホール	208人

(2) 利用状況

年度	利用者数【人】	利用件数【件】
H29	108,810	932
H28	113,573	1,109
H27	111,126	1,134

(3) スケジュール

年度	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020)4月~H33(2021)3月
計画	基本設計・実施設計	周知期間 補正予算計上 入札・契約	改修工事 -----> 全館休館

(4) 改修内容

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ①天井耐震化工事(大・小ホール、図書館) | ⑤給排水設備改修工事(トイレ洋式化) |
| ②建築内部改修工事(床・壁貼り替え等) | ⑥エレベーター改修工事(耐震化) |
| ③電気設備改修工事(LED化等) | ⑦大ホール舞台機構改修工事 |
| ④空調設備改修工事(設備の更新等) | ⑧小ホール舞台機構改修工事 |

(5) 天井・エレベーター耐震化

※平成26年に、建築物の天井脱落対策及びエレベーター等の脱落防止対策に関わる建築基準法施行令の一部を改正する政令が公布される。

対象：特定天井(吊り天井であって、次の①~③いずれも該当するもの)

- ①6m超の高さにある2.00㎡超のもの
- ②天井面積構成部材等の単位面積が2kg超のもの
- ③日常、人が立ち入る場所に設けられるもの

基準：吊りボルト等を増やす、接合金物の強度を上げるなど

※エレベーター 法改正の概要

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| H21改正 | i) 戸開走行保護装置の設置義務付け→二重ブレーキを設置すること |
| H26改正 | i) 釣合おもりの脱落防止構造の強化 |
| | ii) 地震に対する構造耐力上の安全性を高めるための構造計算の規定追加 |

⑦坂井市文化財保存活用地域計画の作成について

●事業の目的

平成 29 年度より取り組んできた「歴史文化基本構想」は、理念だけで作成の法的根拠がありませんでしたが、今般の文化財保護法の改正により、構想にとどまらず、「文化財保存活用地域計画」として法的に位置づけられました。

本市の歴史・文化を活かしたまちづくりを計画的・継続的に推進するため、文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成します。

●事業の内容

- ・計画作成にあたり、協議会の開催、市内の文化財等の調査、シンポジウム、ワークショップ等（文化財候補・活用方法の把握）の開催
- ・文化財の収集・調査・整理・分析や協議会運営支援等の計画作成業務をコンサル会社に委託する
- ・事業期間 平成 31 年度～平成 33 年度（3 ヶ年）
- ・総事業費 約 19,000 千円（3 ヶ年）

●事業の効果

- ・地域計画を国が認定することで、文化財を活かしたまちづくり環境整備事業において、国からの補助支援を受けることができる
- ・調査を実施することで、指定候補の文化財を把握し文化財の指定を促進できる
- ・この地域計画等を作成することは、文化財の基本計画を作成するものであり、今後の文化財指定・文化財修理等が明確化される
- ・市民に調査協力や周知することで、地元に残る宝の掘り起しや文化財への理解を深めてもらうことが期待できる

●認定申請予定 平成 33 年度

●関連事業・政策等の動向

- ・日本遺産 平成 30 年 5 月 24 日追加認定
「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

⑧丸岡城天守の保存と安全性に向けて

○丸岡城天守の耐震診断事業について

丸岡城天守は文化財であると同時に観光施設でもあり、年間を通じて12万人以上が来城している。地震発生時に来城している観光客の安全を確保するためにも、耐震診断と耐震補強工事の実施は必要である。

また、熊本地震以降、城郭の耐震性については全国的に関心が高くなっており、国としても、天守の耐震診断・耐震補強事業は実施を推進している。

耐震診断事業の受託先としては、これまでの修理工事の設計監理を受任してきた公益財団法人文化財建造物保存技術協会が受任できる予定である。

耐震補強工事については、文化庁は診断後速やかに実施を推奨しているが、通常は大規模改修工事と併せて実施するのが一般的で、修理工事の計画・設計後にあたる1~2年後が見込まれる。工事費は診断結果によるため明言はできない。しかしながら、国・県の補助金が見込めるため、市負担を軽減することができる。工事の期間中についても、国では公開しながらの工事実施を推奨しており、市としても先例等を参考に公開しながら工事を実施したいと考える。

○現存12天守の耐震診断・耐震補強工事実施状況

		耐震診断	補強工事
国宝	姫路城	○	○
	松本城	○	予定あり
	彦根城	○	
	犬山城	○	予定あり
	松江城	○	予定あり
重要文化財	弘前城	予定あり	
	備中松山城		
	丸亀城		
	松山城		
	宇和島城		
	高知城	予定あり	
	丸岡城	予定あり	

みくに龍翔館リニューアルについて

総合教育会議資料
みくに龍翔館

1 目的・概要

みくに龍翔館では、開館以来35年以上が経過して老朽化した施設を改修するとともに、市全体の歴史・文化遺産を対象とする展示・収蔵内容へ再編するため、検討委員会を設置しリニューアルについて検討を重ねてきた。

平成31年度以降は、リニューアル基本計画を踏まえ、坂井市の博物館として、市の豊かな風土に育まれた歴史・文化遺産を大切に受け継ぎ、研究・発信していく場として整備し、平成34年度のリニューアルオープンを目指す。

- ・リニューアル基本設計・実施設計業務【平成31年度～32年度】
- ・新常設展示資料収集調査【平成31年度～32年度】
- ・リニューアル改修工事（建築設備および展示収蔵）【平成33年度～34年度】
- ・リニューアルオープン【平成34年度】

《既存施設の概要》

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階、塔屋2階
 建築面積 1,294.00 m²
 延床面積 3,956.38 m²（うち常設展示室 1,886.85 m²、特別展示室 139.20 m²）

2 スケジュール

	平成30年度	平成31年度				平成32年度				平成33年度				平成34年度			
	4～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
基本計画	策定	計画決定															
展示・収蔵			業者選定	基本設計・実施設計					業者選定	改修工事・収蔵庫什器作成							
建築・設備			業者選定	基本設計・実施設計・確認申請					業者選定	改修工事・収蔵庫什器作成							
資料調査 資料収集		【学芸員】展示テーマに関する資料収集・調査				【展示指導者】指導・監修											
展示資料 収蔵資料			資料仮置施設検討・決定					資料搬出	資料仮置（保管）								資料搬入
管理運営							休館周知		休館								
			仮事務所施設検討・決定					事務所移転	仮事務所								事務所移転

リニューアルオープン